

## 携帯黒電話 Bluetooth (ver. 4)

製品型番 : TTR-KUR04-BT

# 取 扱 説 明 書



このたびは携帯黒電話 Bluetooth をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をお読み下さい。  
本説明書を見ないと操作方法が分からない機能がありますので、  
お読みになった後は大切に保管してください。

# 目次

<b>1</b>	<b>使用上の注意</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>使用前の準備</b>	<b>2</b>
2.1	充電	2
2.2	電源のオン・オフ	3
2.3	Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続	4
<b>3</b>	<b>通常の使用方法</b>	<b>6</b>
3.1	着信	6
3.2	発信	6
3.3	携帯電話本体で発着信する場合の注意	7
3.4	音声入出力先の切り替え	7
3.5	フッキング	8
3.6	リダイヤル	8
3.7	受話器・送話器の音量調節	9
3.8	トーン信号の送出	9
3.9	Bluetooth の接続	10
3.10	Bluetooth の切断	11
3.11	短縮ダイヤル	12
3.12	タイマー機能	13
3.13	バッテリー残量の確認	13
3.14	ベルテスト	13
3.15	スマートフォン本体での音声アシスタント	14
3.16	スマートフォンの音声アシスタント操作	14
3.17	通話アプリ・音声パス切り替え機能	16
3.18	メディア再生・操作機能	18
<b>4</b>	<b>各種設定</b>	<b>20</b>
4.1	受信・送信音量	21
4.2	ダイヤル操作タイマ	21
4.3	リダイヤル	21
4.4	音声アシスタント	21
4.5	短縮ダイヤル	21
4.6	Bluetooth 自動接続	22
4.7	通話アプリ・音声パス切り替え	22
4.8	メディア再生・操作機能	22
4.9	充電完了ベル	22
4.10	Bluetooth 接続・切断ベル	22
4.11	Bluetooth デバイス名	23
4.12	ベル音量	23
4.13	海外仕様の着信ベル・トーン	23
4.14	マナーモード	23
4.15	着信音ミュート	23
4.16	バージョン番号確認	24
4.17	電源オフ	24
4.18	再起動	24
4.19	設定初期化	24
<b>5</b>	<b>仕様</b>	<b>25</b>
<b>6</b>	<b>特殊ダイヤル操作一覧表</b>	<b>26</b>

## 1 使用上の注意

携帯黒電話 Bluetooth（以下「本製品」または「黒電話」）は、携帯電話と Bluetooth で接続し、黒電話の操作により携帯電話回線での発着信および音声通話を実現するものです。本来の用途以外のご使用はしないでください。

本製品は空調管理された室内での設置・使用・保管を想定しています。

下記のような場所には設置・使用・保管をしないでください。

- ・極端に高温になる場所（直射日光の当たる場所や熱源の近くなど）
- ・極端に低温になる場所
- ・湿度の高い場所（風呂場や加湿器のそば・風雨の当たる場所など）
- ・不安定な場所
- ・極端に振動が激しい場所
- ・強い磁界・電界が存在する場所（電子レンジ・家庭用コードレスホンや無線機器・IH 調理機器等の近くなど）
- ・空気の汚れが多い場所（ほこりや油飛びなど）
- ・気化した薬品や可燃性ガスなどが充満した場所

また、下記の使用方法に従ってください。

- ・使用方法については、本取扱説明書をよく読み、記載内容に従ってください。
- ・基本的には製品付属の AC アダプタ・充電ケーブルを使用してください。それ以外の充電器を使用する際は 2.1 節に記載の仕様の充電器を使用してください。
- ・付属 AC アダプタは家庭用 AC100V 電源以外（発電機、コンバーター等）では使用しないで下さい。
- ・AC アダプタ・充電ケーブル・コネクタが破損している場合には使用を中止し、販売元に修理または交換を依頼してください。
- ・発煙や異臭がする際にはすぐに AC アダプタ・充電コネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・水が装置内部に入った場合、すぐに AC アダプタ・充電コネクタを抜き、使用を中止して下さい。
- ・濡れた手で本体やコネクタに触らないで下さい。
- ・コネクタの端子に触ったり、導電性異物や薬品を付着させたりしないで下さい。
- ・雷が激しい時は、AC アダプタをコンセントから抜いて下さい。
- ・高い場所から落下させないで下さい。
- ・分解・改造・ハンダ付けなどをしてしないでください。

免責事項：

- ・本製品の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故などの外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の不具合・その他過失などによって生じた金銭的・その他の損害などについて、当方は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による物損事故（接続した携帯電話等や周辺の品物が連鎖的に故障した場合など）には、本製品の保証期間であっても、本製品およびその付属品以外については、当方は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品の故障等による人身事故につきましては、当方は一切その責任を負いかねます。
- ・本製品は全ての Bluetooth 対応携帯電話との接続動作を確認したものではありません。そのため、全ての Bluetooth 携帯電話との接続・動作を保証するものではありません。
- ・Bluetooth は無線接続のため、周囲の電波状況等の条件により、接続が切れる可能性があります。

## 2 使用前の準備

### 2.1 充電

使用する前に、携帯黒電話の内蔵バッテリーを充電して下さい。

1) まず、本製品付属の AC アダプタをコンセントに差し込み、付属充電ケーブルの Type-A コネクタ側を AC アダプタに差し込んでください。



2) 次に、黒電話後ろにある充電用コネクタに充電ケーブルのマグネットコネクタ側を接続してください。近づけるだけで「カチッ」と接続されます。マグネットコネクタに表裏はなく、180 度回転しても接続可能です。



コネクタを差し込むと、ベルが「キンコン」と鳴り、バッテリーの充電が開始されます。(バッテリーが完全に無くなっている場合、ベルが鳴るまでに最大 10 分かかります。)

充電が完了すると、「キンコン」が 2 回鳴ります。

充電完了ベルを鳴らしたくない場合には、4.9 節に従って充電完了ベルの設定をしてください。

※充電器を常時接続したまま使用することもできます。(バッテリーの過充電にはなりません)。

マグネット部分は、下記にご注意ください。

- ・衝撃を与えると磁石が割れる場合があります。
- ・金属粉・金属片などが付着しないようにして下さい(ショートします)。
- ・クレジットカードなど、磁気に弱い物を近づけないで下さい。

充電用電源として下記も使用できますが、仕様を満たしているかご確認ください。

- ・ USB Type-A メスコネクタの USB 充電器、パソコンの USB コネクタ、モバイルバッテリーなど。
- ・ 定格電圧 5V、最大電流 500mA 以上のもの。

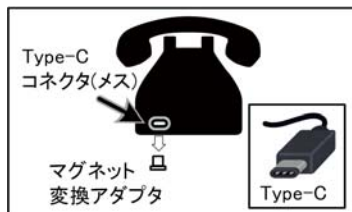
**市販の USB Type-C 充電ケーブルを使用する方法：**

黒電話には USB 規格の Type-C コネクタ(メス)が装備されており、出荷時には Type-C コネクタをマグネットコネクタに変換するアダプタが差し込まれています。

市販の USB ケーブル(Type-C コネクタ)を使用したい場合は、黒電話に差し込んであるマグネット変換アダプタを引き抜いてください。

黒電話側が Type-C の充電ケーブルが使用可能です。

充電器側は Type-A、Type-C どちらも使用可能です。(対応する充電器が必要です)。



**※type-C コネクタを使用する際、コネクタを差し込んだ状態で、強い力や衝撃を加えないでください(特に上下方向)。抜き差しする際には、上下には揺すらないでください。コネクタが破損する場合があります。**

※制御基板キットではマグネット接続の充電ケーブルはオプションです。

## 2.2 電源のオン・オフ

### 1) 電源をオンにする方法：

下記のいずれかの方法で電源をオンにできます。

- ・充電器を接続すると、電源がオンになります。
- ・受話器を置いた状態でダイヤルを回すと、電源がオンになり、回したダイヤル番号に割り当てられた機能が起動します。(26 ページ参照)。
- ・受話器を上げ、何も音が聞こえないことを確認してからダイヤル（番号は何でも構いません）を回すと、電源がオンになります。  
電源がオンになると、受話器から「ツー・ツー」と音が鳴ります。

### 2) 電源をオフにする方法

- ・**受話器を置いた状態で**ダイヤル「0」を右へ回した後、指止めのところで一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。

その後、10 秒以内に「1」をダイヤルし、指止めで止めずに離してください。

すると、「キンコン」2 回のベルが鳴って、電源がオフになります。

**※充電器が接続されている時には電源をオフにすることができません。**

- ・バッテリー残量がなくなった場合には自動的に電源オフになります。  
この際「キンコン」2 回のベルが鳴ります。(Bluetooth 切断ベルを鳴らさない設定(4.10 節)の場合には鳴りません)

### 3) 内蔵バッテリーの劣化を防ぐために、以下の使用方法をお勧めします。

- ・バッテリーが完全に無くなる前に充電するようにしてください。
- ・本製品を長期間(およそ7日以上)使用しない場合には、バッテリーを充電した後、充電用コネクタの接続を外し、電源をオフにして保管するようにください。

## 2.3 Bluetooth 機器の登録（ペアリング）と接続

以下の手順に従って Bluetooth 機器（携帯電話）の登録（ペアリング）と接続を行ってください。この際、黒電話と携帯電話との距離が 50cm 以内の状態で行ってください（通常の使用時より近づける必要があります）。

- 1) 受話器を置いたまま「8 1」をダイヤルしてください。（機器番号 1 番に登録します。最大 3 台まで登録でき、2 番、3 番に登録するにはそれぞれ「8 2」、「8 3」をダイヤルして下さい。）

ベルが『「キンコン」1 回（しばらく休み）...』と鳴り続けます。

- 2) 以下の手順に従って携帯電話から、携帯黒電話の検索を行ってください。

### ・ iPhone の場合 :

「設定」／「設定」－「一般」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにして、設定画面を表示したままにしておいてください。

「その他のデバイス」のところに「Kurodenwa」が表示されたら検索完了です。

※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「登録を解除」を行ってください。（Bluetooth 設定画面の「Kurodenwa」の右側の「⓪」アイコンから行えます。）



「81」をダイヤル



携帯電話から  
検索・接続操作

### ・ Android スマホ (Android9 以上) の場合 :

機種により異なりますが、下記のいずれかの方法で検索を行ってください。

a) 「設定」－「機器接続」－「新しい機器とペア設定する」や「設定」－「Bluetooth」などを選んで、画面を表示したままにしておいて下さい。

b) 機種によっては上記画面で「更新」「機器の更新」ボタン、メニューの「更新」などを選ぶ必要があります。

「使用可能な機器」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら検出完了です。

※携帯黒電話と再度ペアリングを行う場合、必ず一旦「以前接続されていた機器」の「Kurodenwa」を削除してください（「Kurodenwa」の右側の歯車アイコンから行えます。）

### ・ Android スマホ (上記より古い) の場合 :

「設定」－「無線とネットワーク」などの「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、「機器の検索」や検出アイコンをタップするか、メニューの「検索」を選んでください。

「使用可能な機器」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

### ・ フィーチャーフォン (Android OS 搭載) の場合 :

「設定」の「Bluetooth」設定画面にて Bluetooth をオンにしてください。そして、メニューから「更新」を選んでください。

「使用可能なデバイス」のところに「Kurodenwa」の名称が表示されたら、検索完了です。

### ・ フィーチャーフォン (3G ケータイなど、Android OS 非搭載) の場合 :

「メニュー」より、「LifeKit」－「Bluetooth」や「便利ツール」－「Bluetooth」などにある、「機器リスト」から「検索」「サーチ」などのメニューを選択して下さい。

「Kurodenwa」が表示されたら、検索完了です。

※検出が成功するまで数回繰り返し操作が必要な場合があります。

3) 検出された「Kurodenwa」に対して以下の手順で、ペア設定・登録・接続操作をしてください。

・iPhone の場合 :

・Android スマホの場合 :

検索された「Kurodenwa」をタップしてください。

・フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合 :

検索された「Kurodenwa」を選択してください。

・フィーチャーフォン(3G ケータイなど、Android OS 非搭載)の場合 :

検索された「Kurodenwa」に対して「登録」「接続」などの操作を行って下さい。

※携帯電話にペア設定・認証・接続するかどうかのメッセージが表示された場合には許可して下さい。(連絡先・通話履歴へのアクセスは許可する必要はありません。)

※携帯電話にパスワード・パスキー(PIN)入力画面が現れた場合には「0000」を入力して下さい。

※フィーチャーフォンの場合、端末暗証番号を入力する画面が現れた場合には、携帯電話本体の暗証番号を入力して下さい。(上記の Bluetooth パスキーとは異なります)。

4) 携帯電話の種類により、さらに接続操作をする必要があります。

・フィーチャーフォン(Android OS 非搭載)の場合、「Kurodenwa」に対して接続操作をしてください。

・それ以外の携帯電話では、前項の機器の登録・認証をすると自動的に接続される場合もあります。

5) ベルが「キンコン」と鳴り、以後鳴り止んだらペアリングおよび接続は完了です。

ペアリング・接続作業を中止するには : 受話器を置いて下さい。

トラブルシューティング : 携帯電話が「Kurodenwa」を検出できない場合 :

・携帯電話の種類によっては、既に「Kurodenwa」が登録されていると新規機器登録メニューで検出・検索できない場合があります。一旦機器リストにて登録を削除(解除)してから、再度検出・検索を行って下さい。

(詳しくは携帯電話の取扱説明書にて「Bluetooth 機器の登録解除」などを参照してください)。

・携帯電話の Bluetooth 機能をオフ・オンしたり、再起動してみてください。

・黒電話の再起動(4. 18 節)を行ってみてください。

それでも改善しない場合は黒電話の設定初期化(4. 19 節)を行ってみてください(各種設定が初期化されますので再設定が必要です)。

一度ペアリングを行えば、次回からは必要ありません。(通常の使用では、Bluetooth の接続・切断(3. 9 節、3. 10 節)を行うだけです。自動で接続する設定も可能です(3. 9 節④)。)

電源が切れても、ペアリング情報は保存されています。設定初期化(4. 19 節)を行った場合にはペアリング登録情報が消去されます。

一旦登録したペアリングを解除するには、受話器を置いた状態でダイヤル「1」を回し、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離して下さい(機器番号 1 番の場合)。解除されたら「キンコン」が 2 回鳴ります。機器番号 2 番、3 番の場合は、それぞれダイヤル「2」、「3」です。

## 3 通常の使用方法

### 3.1 着信

携帯電話に着信があると黒電話のベルが鳴ります。

(黒電話がマナーモードに設定してある場合には鳴りません。(4.14 節参照))

- ・受話器を上げると通話を開始できます。受話器を置くと通話が終了します。
- ・着信拒否をするにはフッキング(3.5 節参照)をしてください。
- ・受話器を上げているときに着信があった場合にもベルが鳴ります。フッキング(3.5 節)することにより通話を開始することができます。

※通話先にエコー(自分の声が遅れて自分に聞こえる現象)が発生した場合、以下の通り調節をしてください。(音量を調節方法は、3.7 節を参照してください。)

- ・受話音量を小さくする
- ・送話音量を小さくする

携帯電話本体の着信音については、以下の通りとなります。

- 1) スマートフォンの場合：スマートフォン本体の着信音量の設定により、鳴らす／鳴らさないが選択可能です。
- 2) フィーチャーフォン(Android OS 搭載)の場合：スマートフォン本体の着信音量の設定により、鳴らす／鳴らさないが選択可能です。
- 3) フィーチャーフォン(上記以外)の場合：携帯電話の初期設定では鳴りません。次の設定がある機種は、鳴らすことができます。

Bluetooth メニューの中にて、まず「Bluetooth オフ」にし、次に「Bluetooth 設定」にて「着信音送出設定」がある機種は、「送らない」に設定すると、携帯電話本体から着信音が鳴るようにできます。

設定が終わったら「Bluetooth オン」にしてください。

### 3.2 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という連続音がするのを確認してください。

(この際、「ツー・ツー…」という断続音が聞こえたら、携帯電話と Bluetooth での接続ができていません。ペアリング(2.3 節) および Bluetooth の接続(3.9 節)の操作が完了しているかを確認してください。

次に、黒電話のダイヤルを回して電話番号を入力します。

- ・10 桁(固定電話)、11 桁(携帯電話)の電話番号の場合は、すぐに発信します。
- ・ダイヤル終了後にフッキング(3.5 節)をすると、すぐに発信します。
- ・それ以外の場合にはしばらく経つと発信します。待ち時間は設定できます(4.2 節)。



同じ番号に連続して発信して相手が応答しないことが何度か続いた場合、発信できない場合があります（携帯電話会社による再発信規制）。その場合は、受話器から「ツー・ツー・ツー・ツー…」という音が鳴ります。

発信規制を解除して、発信可能にする方法は以下の通りです。

- ・しばらく時間をあけてから（数分かかる場合もあります）、再度発信する
- ・携帯電話を再起動する

発信規制時、別の電話番号には発信可能です。また、携帯電話本体の操作による発信は可能です。

※携帯電話本体の操作により発信後、黒電話で通話することもできます（携帯電話の種類により出来ない場合や、操作が必要な場合があります）。操作方法は以下の通りです。

- 1) 黒電話の受話器を上げます（受話器から「ツー」という発信音が出ることを確認してください）。
- 2) 次に、携帯電話本体で発信操作（電話番号入力や電話帳など）をします。
- 3) 受話器からの音が「ツー」から発信中の音に変わり、以後は通常の発信と同じです。

### 3.3 携帯電話本体で発着信する場合の注意

携帯電話本体で発信や着信の操作をした際に携帯電話本体から音声が出ない場合には、携帯電話を操作して、音声入出力先を Bluetooth (Kurodenwa) から携帯電話本体に切り替えてください。（スマホの場合は電話/iPhone/Bluetooth アイコンの表示にて、ガラケーの場合はサブメニューなどにて）。

また、毎回切り替えるのが面倒な場合、4.7 節「通話アプリ機能」を「携帯電話本体でも通話をする」に設定すると（初期設定はこの設定です）、携帯電話本体での発着信時に、通話入出力先が黒電話に切り替わらなくなります。3.17 節も参照してください。

### 3.4 音声入出力先の切り替え

- ・黒電話→携帯電話への切り替え：  
黒電話で通話中に、携帯電話本体での通話に切り替えるには、携帯電話の操作にて音声出力先を Bluetooth (Kurodenwa) から携帯電話本体に切り替えてください。（スマホの場合：電話/iPhone/Bluetooth アイコンの表示、ガラケーの場合：サブメニューなどにて）。  
この際、黒電話の受話器からは「ツー・ツー」音が鳴りますので、受話器を置いてください。
- ・携帯電話→黒電話への切り替え：  
携帯電話本体での通話中に、黒電話での通話に切り替えるには、黒電話の受話器を上げてください。黒電話での通話に切り替わります。

### 3.5 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合に電話を取るには、受話器を置いて（または指でフックを押して）、0.5秒以内に離してください。

その他の用途でもフッキングを使用する場合があります。（リダイヤル(3.6節)・ダイヤル後すぐに発信(3.2節)など）



受話器を置いた状態の時に電話がかかってきた場合に着信拒否をするには、受話器を上げて、0.5秒以内に置いてください。



### 3.6 リダイヤル

以下のいずれかの操作により、黒電話から最後に発信した電話番号に再発信できます。

- 1) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、ダイヤル「6」を回します。数秒経ってから発信します。（フッキングをするとすぐに発信します）。



- 2) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5秒以内に離す）をしてください。（フッキング前には何もダイヤルしないでください）。



**リダイヤル機能を有効にするには、設定が必要です。**（4.3節参照、初期値は無効）。

使用できる電話番号は31桁までです。

### 3.7 受話器・送話器の音量調節

**通話中に**以下の操作をすると音量を調節できます。

1) 「1」(受話音量の場合)または「2」(送話音量の場合)をダイヤル後、**指止めで止めます。**

「キンコン」と鳴ったら、5秒以内に「0」～「9」をダイヤルします(指止めで止めない)。

0が最小、9が最大です。

設定が完了すると、受話器から「プ」と鳴ります。

受話音量 : 「1」(指止めで止める)に続き「0」～「9」

送話音量 : 「2」(指止めで止める)に続き「0」～「9」



2) 受話音量は、通話中に携帯電話の音量ボタンを押すことでも調節できます。

1桁目の後5秒を過ぎると「ジリン・ジリン」と鳴り、キャンセルされます。

設定した音量は記憶され、次回以降の通話にも有効です。

電源オフになっても記憶されています。

(受話音量は携帯電話または黒電話が記憶しています(※)。送話音量は黒電話が記憶しています)。

設定初期化(4.19節)をすると送話音量は出荷時の設定に戻ります。

4.1節の設定にて現在の設定(0～9)の確認と設定が可能です。

**※最初の使用時などに携帯電話の音量が反映される場合があります。**

### 3.8 トーン信号の送出

通話中に以下の操作をすると、トーン信号(ピポパ音)を通話先に送出することができます。

送出した際には受話器から「プ」と鳴ります(こちら側には番号毎に異なるピポパ音は鳴りません)。

0～9 : 通話中に「0」～「9」をダイヤル

\* : 通話中に「9」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離します。

# : 通話中に「0」をダイヤル後、指止めで止めます。ベルが「キンコン」鳴ったら離します。

※通話先が携帯電話の場合、トーン信号が送出されない場合があります。(携帯電話会社側の仕様です)。通話先が固定電話の自動応答システムの場合には問題ありません。

### 3.9 Bluetooth の接続

携帯電話と Bluetooth の接続をするには、以下の通り 4 つの方法があります。

※下記の手順で接続をするには、まずペアリング (2.3 節) を行っておく必要があります。

※既に別の携帯電話と Bluetooth の接続をしている場合は、まずその携帯電話と切断 (3.10 節) を行ってから新たな携帯電話と接続を行ってください。

接続が完了していると、受話器を上げた時に「ツー」音が鳴ります。

接続が完了していない場合には受話器を上げた時に「ツー・ツー」音が鳴ります。

- ① 黒電話の操作により接続する方法 (その 1) ←**受話器を上げるだけで接続**  
 受話器を上げると最後にペアリング操作または接続操作をした機器番号「1」「2」「3」のいずれかの携帯電話に接続します。

受話器を上げると「ツ・ツー…… ツ・ツー……」の繰り返し音が鳴ります。

携帯電話との接続が完了するとベルが「キンコン」と鳴り、受話器の音が「ツー」に変わります。

※この操作による接続を行うには「受話器上げ時に接続」の設定が必要です。出荷時にはオンになっています (4.4 節参照)。



- ② 黒電話の操作により接続する方法 (その 2) ←**接続する携帯電話を指定したい場合**

受話器を置いたまま、接続したい機器番号「1」「2」「3」のいずれかを回して下さい。

「キンコン… キンコン…」とベルが繰り返し鳴り続けます。

接続が完了すると「キンコン」と一度鳴り、ベルが鳴り止みます。

ベルが鳴っている途中で受話器を上げると、接続作業が中止され、ベルが鳴り止みます。

ペアリングしていない機器番号をダイヤルすると、「ジリン、ジリン」と鳴り、エラーとなります。まずペアリング (2.3 節) を行って下さい。

既に携帯電話と接続している状態で別の機器番号をダイヤルすると「ジリン、ジリン」と鳴り、エラーとなります。一旦切断してから (3.10 節) 接続操作を行って下さい。



- ③ 携帯電話の操作により接続する方法 ←**接続する携帯電話を指定したい場合**

携帯電話から携帯黒電話 (名称は「Kurodenwa」) を選び、「接続」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります)。

接続が完了すると、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。



④ 常時自動接続の設定をする方法 ←可能な限り常時接続しておきたい場合

Bluetooth の接続が切れている間、携帯黒電話から常時接続を試みます。ペアリングが完了している携帯電話に対し、順に接続を試みます。

そのため、何らかの理由により Bluetooth の接続が切れても、再度接続可能な状態・電波到達範囲に入ると自動的に接続されます。

自動接続が完了した際には、黒電話のベルが「キンコン」と鳴ります。

この方法で接続するには「常時自動接続」の設定が必要です。出荷時にはオフになっています (4.6 節参照)。

接続間隔は 3 分、1 分、20 秒を設定できます。この時間ごとに 5 秒間だけ接続を試みます。

この機能を使用すると、Bluetooth 切断時(接続試行中)の黒電話の消費電力が増えます。

Bluetooth 接続時の消費電力は変わりません。

接続間隔とバッテリー持続時間の関係は以下の通りです。

接続間隔	接続に要する時間 (最大)	バッテリー最大持続時間	
		Bluetooth 切断時	Bluetooth 接続時
オフ	自動接続しない	約 7 日	約 8 日
3 分	3 分 × 登録台数(※)	約 6 日	約 8 日
1 分	1 分 × 登録台数	約 5 日	約 8 日
20 秒	20 秒 × 登録台数	約 3 日	約 8 日

※「登録台数」とは、機器番号 1~3 にペアリング済みの台数です。

電波状況等により、上記最大時間内に接続できない場合があります。

### 3.10 Bluetooth の切断

黒電話での通話を使用しない場合には、以下の手順で Bluetooth の接続を切断して下さい。

以下の方法があります。

また、既に接続している携帯電話とは別の携帯電話に接続したい場合も、以下の方法で接続を一旦切断してから、接続操作(3.9 節)を行って下さい。

① 黒電話の操作により切断する方法

受話器を置いたまま、黒電話のダイヤル「4」を回して下さい。

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



「4」をダイヤル

② 携帯電話の操作により切断する方法

携帯電話から携帯黒電話の名称「Kurodenwa」を選び、「切断」の操作を行って下さい。(操作方法は携帯電話によって異なります。この操作ができない携帯電話もあります)。

切断が完了すると、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴ります。



切断操作

③ Bluetooth の電波が届かなくなった場合には、黒電話のベルが「キンコン、キンコン」と 2 度鳴り、切断されたことを示します。

### 3.11 短縮ダイヤル

以下の操作により、短縮ダイヤルの登録、発信ができます。  
短縮番号 0～9 の合計 10 個を使用できます。

#### 登録の手順：

- 1) 受話器を置いた状態で「7」を回し、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら指を離します。
- 2) 続いて 10 秒以内に短縮番号(「0」～「9」のいずれか)を回します(指止めで止めません)。
- 3) すると現在の電話番号の設定をベルで通知します。  
1 秒ずつ空けて、設定した桁数だけベルが鳴ります。  
各桁は、「キンコン」1～9 回は電話番号 1～9、「ジリン」は電話番号 0 です。  
※設定が無い場合は「ジリン」が 1 回だけ鳴ります。  
※通知ベル完了後 10 秒間何もしないと設定が中止され、「ジリン、ジリン」(短いベル 2 回)が鳴ります。
- 4) 次に、設定したい電話番号をダイヤルします。最大 23 桁まで登録できます。  
電話番号を入力後 10 秒以上何もしないと確定され、「キンコン」が 1 回鳴ります。  
※上記 3) の通知ベルの途中でも電話番号のダイヤルを開始できます。  
※設定を中止したい場合は受話器を上げて下さい。「ジリン、ジリン」と鳴ります。  
※設定を削除したい場合は電話番号「0」(1 桁だけ)を登録してください。

**発信の手順：**以下の 2 つの方法で発信が可能です。

- 1) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、短縮番号「0」～「9」を回し、指止めで止めます。ベルが「キンコン」と鳴ったら離します。  
すぐに発信が開始されます。
- 2) 受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、短縮番号「0」～「9」を回します。数秒後に発信が開始されます。



初期設定では上記 1) の方法のみ有効です。

上記 2) の方法を有効にするには設定変更が必要です。4.5 節を参照してください。

- 2) の方法を有効にし、短縮ダイヤルを登録すると、短縮番号が以下の機能と重複します。各機能よりも短縮ダイヤルの実行が優先されます。  
重複した機能を実行したい場合には、同じ番号を 2 つ続けた番号も使用可能です。

短縮番号	機能	機能の代替番号
1, 2, 3	通話アプリ接続 機器番号 1～3	1 1, 2 2, 3 3
6	リダイヤル	6 6
7	メディア操作モード	7 7
0	音声アシスタント起動	0 0

### 3.12 タイマー機能

黒電話をタイマーとして使用できます。

設定できる時間は1分～99分（1分刻み）です。

操作方法は以下の通りです。

#### 1) タイマーのセット

受話器を置いたまま、「0」に続けて、2桁の時間（分）をダイヤルしてください。  
各桁の間に10秒以上空けると「ジリン、ジリン」とベルが鳴り、設定が中断されます。

タイマーがセットされると「キンコン」とベルが鳴ります。

例：3分を設定する場合、「003」をダイヤルしてください。

設定可能な最大時間は99分（「099」をダイヤル）です。

#### 2) タイマー通知ベル

設定した時間に到達すると、「リン... リン...」とベルが鳴り続け、約30秒後に停止します。  
受話器を上げるとベルが止まります。

通話中にタイマー設定時間に到達した場合には、通話が終了した後にタイマー通知ベルが鳴ります。

#### 3) キャンセル

一旦セットしたタイマーをキャンセルするには、受話器を置いたまま「000」をダイヤルしてください。キャンセルされると、「ジリン」と鳴ります。

### 3.13 バッテリー残量の確認

受話器を置いたまま「5」をダイヤルすると以下の通りベルが鳴り、バッテリー残量を確認できます。

「キンコン」3回：バッテリーレベル：高

「キンコン」2回：バッテリーレベル：中

「キンコン」1回：バッテリーレベル：低

### 3.14 ベルテスト

受話器を置いたまま「9」をダイヤルすると、ベルが鳴ります。「9」をダイヤルするたびに鳴り方が変わります。

1回目：電話の着信ベル「ジリリリリーン、ジリリリリーン」

2回目：確認のベル「キンコン」

3回目：タイマーのベル「リン... リン...」

4回目：通話アプリの着信ベル「リンリン...、リンリン...」

5回目：海外の着信ベル1「長いジリリーン...」

6回目：海外の着信ベル2「ジリリン、ジリリン...」

7回目：ベル停止

受話器を上げると止まります。

### 3.15 スマートフォン本体での音声アシスタント

iPhone の Siri や Android の Google アシスタントを携帯電話のホームボタン長押しなどで起動した際に、携帯電話本体の音声入出力(マイク・スピーカー)が使用できない場合があります。

これは、音声入出力が Bluetooth ハンズフリー(本製品)に切り替わっているためです。

- ・ 3.17 節、4.7 節の「通話アプリ・音声パス切り替え機能」を「携帯電話本体でも通話をする」に設定すると、音声入出力を携帯電話本体に戻すので、携帯電話本体で音声アシスタントが使用できます。**(初期設定ではこの設定です)**。
  - ・ 同設定を「通話アプリを使用する」に設定すると、Bluetooth に切り替わった際に黒電話のベルが鳴って通知します。そして、受話器を上げて音声入出力が可能です。
- また、黒電話にて音声アシスタントを起動・音声入出力を行うには 3.16 節を参照してください。

### 3.16 スマートフォンの音声アシスタント操作

スマートフォンの音声アシスタント (iPhone の Siri や Android スマートフォンの Google アシスタントなど) を起動・操作することができます。操作方法は以下の通りです。

- 1) 以下のいずれかの方法で音声アシスタントを起動します。
  - a) 受話器を上げてダイヤル「0」を回す。
  - b) 受話器を上げて、何もダイヤルせずにフッキング(3.5 節)をする。  
(フッキングは出荷時には無効になっています。有効にする方法は 4.4 節を参照してください。)
- 2) 受話器からアシスタントの起動音が聞こえますので(機種によっては聞こえない場合があります)、受話器から音声を入力してください。
- 3) スマートフォンからの応答音声は受話器へ出力されます。
- 4) 終了したら受話器を置いて下さい。
- 5) スマートフォンやアシスタントアプリのバージョンによっては、受話器を置かずもう一度ダイヤル「0」またはフッキングを行うと音声アシスタントを再度開始できます。

※この機能を利用するためには、スマートフォンの設定で音声アシスタントを有効にしてください。

**iPhone の場合 :**

設定アプリ→Siri と検索の中から以下の項目を確認

「ホームボタンを押して Siri を使用」を「オン」に設定

「ロック中に Siri を許可」を「オン」に設定

**Android スマホの場合 :**

設定アプリ→Google→アカウントサービス→検索、アシスタント音声の中から以下の項目を確認

└Google アシスタント→全般

├─「Google アシスタント」を「オン」に設定

├─「優先する入力」を「音声」に設定

└音声

├─「音声による検索結果」を「ON」に設定

├─「Bluetooth での録音」を「オン」に設定

└─「デバイスロック時に Bluetooth のリクエストを許可」を「オン」に設定

※音声アシスタントから電話をかける機能を使うと、そのまま通話をすることができます。通話が終了したら受話器を置いて下さい。

※次節のメディア再生・操作機能を有効にしている場合、音声アシスタントから音楽を再生する機能を使うと、受話器から音楽が再生されます。

※上記の内容は、スマートフォンやアプリの更新で変わる場合があります。最新の対応状況や設定方法などについては当方ホームページ(本書最終ページにアドレス記載)をご覧ください。



次ページへ続く

### 3.17 通話アプリ・音声パス切り替え機能

本製品を使用した通常の電話（070/080/090 番号）は Bluetooth の HFP（ハンズフリープロファイル）を使用しますが、スマホの通話アプリ（\*）は HFP に対応していない場合があります、以下の問題が生じます。

- ・通話アプリ着信時にスマホからも固定電話からも着信音が鳴らない
- ・スマホ本体や固定電話で通話アプリの通話ができない
- ・通話デバイスの切り替え（スマホ本体と固定電話の間）がうまくいかない

下記の設定をすると、これらを回避できる場合があります。

（\*：Apple Facetime, Google Duo, Skype, LINE, Rakuten Link, SMARTalk, Viber, 03plus 等）

また、スマホ本体でも通話を行う場合には下記の設定をしないと不具合が発生する場合があります。

「通話アプリ・音声パス切り替え機能(4.7 節、初期値は 6)」の設定値と動作

iPhone	設定値 1~3(通話アプリを使う)	設定値 6(スマホ本体でも通話をする)	
通話アプリ	着信	通常の電話と同様の動作(※1)	
	発信	スマホ本体で発信操作が必要 スマホ本体から発信音は鳴らず、固定電話に着信(※3) (※7) も可能	スマホ本体で発信操作・通話を行う 固定電話で通話するには(※7)
	通話中	切り替え(※5)(※6)可能	切り替え(※5b)(※6)可能
Siri	スマホ本体で音声入出力不可 固定電話にて行うには(※7)	スマホ本体で音声入出力可能	
通常の電話 スマホ本体	スマホ本体で通話するには切り替え(※5)が必要な場合あり	通常の操作でスマホ本体での通話可能	

Android	設定値 1 または 3(通話アプリを使う)	設定値 6(スマホ本体でも通話をする)	
通話アプリ	着信	スマホ本体から着信音が鳴る 固定電話で通話するにはスマホ本体で着信操作が必要(※2) アプリによっては、着信操作後に(※3)	スマホ本体から着信音が鳴る。 スマホ本体で着信操作・通話を行う
	発信	スマホ本体で発信操作が必要 スマホ本体から発信音は鳴らず、固定電話に着信(※3) (※7) にて発信することも可能	スマホ本体で発信操作・通話を行う。
	通話中	切り替え(※5b)可能な場合あり (※4 注意)確認	切り替え(※5b)可能な場合あり (※4 注意)確認
Google アシスタント	スマホ本体で音声入出力不可(※3) (※7)可能	スマホ本体で音声入出力可能	
通常の電話 スマホ本体	スマホ本体で通話するには切り替え(※5)が必要な場合あり	通常の操作でスマホ本体での通話可能	

注意事項：

- ・通話アプリを使う設定では、スマホ本体での通話や音声アシスタントに支障が出る場合があります。
- ・上記の説明は全てのスマホ・OS・アプリでの動作を保証するものではありません。
- ・今後のアプリ・OSアップデートに伴い、動作が変わる可能性があります。

**(※1 動作) :** 着信時動作(通常着信と同様動作)

黒電話に着信がある。(通常のベルの鳴り方)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話できます。受話器を置くと、通話が終了します。
- b) スマホで通話をしたい場合、スマホで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

**(※2 動作) :** 着信時動作(通話アプリ特有動作)

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げ、さらに**スマホで着信操作をすると、黒電話で通話ができます。受話器を置いて、通話は終了しません。**(※4 注意)参照。
- b) スマホで通話をしたい場合、スマホで着信操作を行った後、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

**(※3 動作) :** 発信時動作(通話アプリ特有動作)

黒電話に着信がある。(ベルは「リンリン...、リンリン...」と鳴ります)。

- a) 黒電話の受話器を上げると、黒電話で通話ができます。**受話器を置いて、通話は終了しない場合があります(特に Android スマホの場合)。**(※4 注意)参照。
- b) スマホで通話をしたい場合、(※5 操作)の方法で通話デバイスを切り替えてください。

**(※4 注意) :** 通話が終了しない場合

通話アプリ・スマホの種類によっては、黒電話の受話器にて通話中、**受話器を置いても通話が終了しない場合があります。**この場合、**スマホ本体での通話に切り替わり、通話は続いていますので注意してください。**通話を終了するにはスマホで通話終了の操作が必要です。

**(※5 操作) :** 音声パス切り替え

- a) 通話アプリによっては使用するデバイスを切り替えることができます。通話中の画面で、スピーカーや Bluetooth のアイコンをタップしてください。  
「スピーカー」／「イヤピース」／「iPhone」などはスマホ本体での通話になります。  
「Bluetooth」や「Kurodenwa」などは黒電話での通話になります。  
スマホ本体から Bluetooth に切り替えた場合、黒電話に着信があり、受話器を上げると黒電話で通話できます。上記(※3 動作)参照。
- b) 先に受話器を上げてから Bluetooth に切り替えると、黒電話への着信を省くことができます。

**(※6 操作) :** 黒電話から音声パス接続

スマホ本体にて通話中、黒電話の受話器を上げて機器番号(「1」～「3」)をダイヤルすると、黒電話で通話できます。(通話アプリ・スマホによっては、できない場合もあります)。

**(※7 操作) :** 音声パス切り替えの省略方法

以下の方法で、黒電話への着信を省き、素早く黒電話で通話が始まります。

黒電話の受話器を上げた後、通話アプリで発信・着信操作をしてください。

受話器からは、最初は「ツー」という発信音がしますが、スマホと接続されると発信音または通話に切り替わります。

### 3.18 メディア再生・操作機能

スマートフォンの音楽などメディア再生の音を黒電話の受話器で聞くことができます。操作方法は以下の通りです。(この機能は初期設定ではオフになっています。オンにする方法は4.8節を参照してください)。

- 1) まず、受話器を上げて「7」をダイヤルしてください。受話器から「ブ」と音がして、メディア操作モードになります。  
(前節の操作で音声アシスタントを起動しても、メディア操作モードになります。)
- 2) 次に、1桁の番号をダイヤルしてください。可能な操作は下表の通りです。  
番号は繰り返し入力できます。
- 3) 受話器を置くと再生を停止し、メディア操作モードを終了します。

番号	コマンド
1	再生開始
2	再生停止
3	再生音量設定(※1)
5	次の曲へ
6	前の曲へ
9	音声アシスタント停止
0	音声アシスタント開始

(※1) 3をダイヤルした後、「0」～「9」ををダイヤルしてください。0が最小、9が最大です。

携帯電話本体の操作でも音量を変更できます。

最終的な音量は下記の通り、携帯電話によって異なります。

- ・黒電話の音量と携帯電話の音量が連動する(iPhone)
- ・黒電話の音量と携帯電話の音量は別で、最終的な音量はこれらのかげ算(Android)
- ・メディアの音量と通話の音量は別の設定です。

※本機能は試験的に導入しています。動作の保証はできません。

※本機能の設定をした後、受話器を上げるかダイヤルを回すと、ペアリング情報が全て消去され、黒電話が自動的に再起動します。(その際、「キンコン」が4回鳴ります)。

スマートフォンのペアリングを一旦解除してから、再度ペアリング・接続をやり直して下さい。(解除しないとメディア再生が有効にならない場合があります)。

※本機能を有効にしていると、音楽再生・動画再生アプリの音、ゲームの音なども受話器に送られるため、スマートフォン本体からこれらの音が出なくなります。アラームなど一部の音はスマートフォン本体から鳴ります。



## 4 各種設定

本製品には各種設定があり、以下の方法で設定ができます。

- 1) 受話器を置いたまま、各設定項目の機能番号の1桁目をダイヤル(右へ回す)した後、指止めのところで3秒ほど一旦止めます。

「キンコン」と鳴ったら指を離します。

- 2) 続けて、機能番号2桁目のダイヤルを回します。(指止めで止めません)。

(2桁目が無い機能番号、3桁目がある機能番号もあります)。

- 3) その後ベル鳴り、現在の設定値を知らせます。(鳴り方は下表参照)

- 4) 設定を行う場合は番号をダイヤルしてください。

※10秒間ダイヤルしないと「ジリン、ジリン」と鳴り、設定を中止します。

※受話器を上げても「ジリン、ジリン」と鳴り、設定を中止します。

- 5) 設定が完了した値をベルで知らせます。(鳴り方は下表参照)

※機能番号を間違いや、設定値が範囲を超えている場合には「ジリン、ジリン」と鳴ります。

※設定内容は、バッテリー切れや電源オフをしても保存されます。

設定中のベルの鳴り方		
設定値の通知、	設定値 1~9	「キンコン」1回~9回
設定完了	設定値 0	「ジリン」(短いベル1回)
設定中止 または エラー		「ジリン、ジリン」(短いベル2回)

### 4.1 節以降の表の見方

機能番号	受話器を置いたまま回す番号を示します。 番号の後にHがある場合、指止めで止めることを示します。 (HはHoldの略です。)
設定値	設定できる値を示します。 ( )の中には出荷時・設定初期化後の設定値を示します。
機能説明	設定値と機能の関係を説明しています。

例：4.1節の受信音量(4H1)を設定する場合、次の3つを続けてダイヤルします。

- 1) (4H1 の 4H) :4 をダイヤルし、指止めで止め、「キンコン」と鳴ったら離します。

- 2) (4H1 の 1) :1 をダイヤルします。(指止めで止めません。)

ベルが鳴り、現在の設定値を通知します。

- 3) 設定値(0~9のいずれか)をダイヤルします。(指止めで止めません。)

ベルが鳴り、設定した値を通知します。

#### 4.1 受信・送信音量

機能番号	設定値	機能説明
4H1	0～9 (4)	受信音量を設定します。 0(最小)～9(最大)です。
4H2	0～9 (3)	送信音量を設定します。 0(最小)～9(最大)です。
4H3	0～9 (4)	メディアの音量を設定します。 0(最小)～9(最大)です。

上記の設定の他に、通話中・メディア再生中のダイヤルでも設定できます(3.7節、3.18節参照)。

#### 4.2 ダイヤル操作タイマ

ダイヤルの操作に時間がかかり、ダイヤル途中で発信してしまったり、指止めで止める操作の「キンコン」が鳴ってしまう場合には、以下の設定で待ち時間を変更することができます。

機能番号	設定値	機能説明
5H7	0～3 (1)	0:0.5秒短縮 1:標準 2:2秒延長 3:4秒延長

#### 4.3 リダイヤル

機能番号	設定値	機能説明
6H1	0～3 (0)	0:リダイヤル無効 1:ダイヤル「6」でリダイヤル 2:フッキングでリダイヤル(4.4節の「フッキングで音声アシスタント起動」が有効になっていると動作しません。) 3:1,2の両方を有効

#### 4.4 音声アシスタント

機能番号	設定値	機能説明
6H2	0～3 (1)	0:音声アシスタント無効 1:ダイヤル「0」で音声アシスタント起動 2:フッキングで音声アシスタント起動 3:1,2の両方を有効

#### 4.5 短縮ダイヤル

機能番号	設定値	機能説明
6H3	0～2 (1)	0:短縮ダイヤル無効 1:ダイヤル「0」～「9」を回し、指止めで止めて「キンコン」後離す 2:ダイヤル「0」～「9」を回す(1の方法も有効)
7H0～ 7H9	23桁 まで (0)	短縮ダイヤルの電話番号を設定します。 詳細は3.11節を参照してください。

#### 4.6 Bluetooth 自動接続

機能番号	設定値	機能説明
8H1	0, 1 (1)	受話器を上げると Bluetooth 接続を実行する機能です。 0: 受話器上げ時接続 オフ 1: 受話器上げ時接続 オン
8H3	0~3 (0)	常時 Bluetooth 接続を試みる機能です。 0: オフ 1: 常時自動接続 3 分間隔 2: 常時自動接続 1 分間隔 3: 常時自動接続 20 秒間隔

#### 4.7 通話アプリ・音声パス切り替え

機能番号	設定値	機能説明
8H4	0~7 (6)	0: オフ(通話アプリを使用しない・携帯電話本体で電話の通話をしない) 1: 通話アプリを使用する(iPhoneiOS11 以前/Android 用) 2: 通話アプリを使用する(iPhoneiOS11 以前用) 3: 通話アプリを使用する(iPhone/Android 用) 6: 携帯電話本体でも電話の通話をする。通話アプリは使用しない。 ・最近のスマートフォンで通話アプリを使用する場合は 3 を設定 ・携帯電話本体でも電話の通話をする場合は 6 を設定

#### 4.8 メディア再生・操作機能

Bluetooth の A2DP(メディアの音声)、AVRCP(メディアの操作)のプロファイルを有効にします。  
**※本機能の設定をすると、Bluetooth ペアリング登録情報が全て消去されます(3.18 節参照)。**

機能番号	設定値	機能説明
6H5	0~3 (0)	0: 機能オフ 3: A2DP, AVRCP をオン 1, 2 は設定しないでください。

#### 4.9 充電完了ベル

機能番号	設定値	機能説明
5H2	0, 1 (1)	内蔵バッテリーの充電完了ベルを鳴らすかどうかの設定です。 0: 鳴らない 1: 鳴る

#### 4.10 Bluetooth 接続・切断ベル

機能番号	設定値	機能説明
5H3	0~3 (3)	Bluetooth が接続・切断された際にベルを鳴らすかどうかの設定です。 0: 接続・切断ベルのどちらも鳴らさない 1: 接続ベル(「キンコン」1 回)のみ鳴らす 2: 切断ベル(「キンコン」2 回)のみ鳴らす 3: 接続・切断ベルの両方を鳴らす



#### 4.11 Bluetooth デバイス名

Bluetooth のデバイス名 (ペアリングや接続の操作時に携帯電話に表示される本製品の名称) は、初期設定では「Kurodenwa」ですが、以下の方法で変更することができます。

本製品を複数台使用する際など、個体を識別したい場合に使用してください。

**この設定は、ペアリング・接続操作をする前に行ってください。**

**既にペアリングした場合には一旦ペアリングを解除してから、再度行って下さい。**

機能番号	設定値	機能説明
8H8	0~9 (0)	設定値とデバイス名の関係は以下の通りです。 0 : Kurodenwa 1~9 : Kurodenwa (1) ~Kurodenwa (9)

#### 4.12 ベル音量

機能番号	設定値	機能説明
5H5	0~6 (3)	0:最小~6:最大 設定値と音量が比例しない場合があります。

#### 4.13 海外仕様の着信ベル・トーン

機能番号	設定値	機能説明
5H6	0~2 (0)	0:日本のベル 1:海外のベル1(「長いジリリン... (休み)」の繰り返し) 2:海外のベル2(「ジリリン、ジリリン... (休み)」の繰り返し) 海外のベル1,2に設定すると受話器のトーンの音色が変わります。

#### 4.14 マナーモード

機能番号	設定値	機能説明
9H	0, 1 (1)	着信ベルを鳴らすかどうかの設定です。 9をダイヤル(指止め)に続き0または1をダイヤルしてください。 0:着信ベルオフ(マナーモード) 1:着信ベルオン

#### 4.15 着信音ミュート

機能番号	設定値	機能説明
4H0	0~9 (0)	着信時に、黒電話のベルと同時に黒電話の受話器から携帯電話に設定した着信音が鳴りますが、それをミュートする機能です。 ミュートする場合は1を設定してください。 1では着信音が鳴ってしまう場合のみ、2以上に値を増やして下さい。 予期せぬ不具合の可能性があるので、必要な場合のみ使用して下さい。

#### 4.16 バージョン番号確認

ファームウェアのバージョン番号を確認します。

機能番号	設定値	機能説明
5H0	無し	1桁ずつ間隔を空けて、3桁のバージョン番号(x, y, z)を通知します。 x, y, zが、ファームウェアバージョン(x.yz)を表します。 また、本説明書の最後に記載の番号(ver. KURO4-x.yz)に対応しています。

#### 4.17 電源オフ

機能番号	設定値	機能説明
0H1	無し	「キンコン」が2回鳴って、電源がオフになります

#### 4.18 再起動

本製品に何らかの異常が発生した場合、再起動を行ってください。

機能番号	設定値	機能説明
0H0	無し	「キンコン」が4回鳴って、本製品が再起動します。 本製品の各種設定やBluetoothペアリング登録情報は初期化されません。

#### 4.19 設定初期化

上記の再起動でも異常が改善しない場合、設定初期化を行って下さい。

機能番号	設定値	機能説明
0H99	無し	「キンコン」が5回鳴って、本製品の設定が出荷時の状態(各表の「設定値」欄の括弧内の数字)に初期化され、本製品が再起動します。 Bluetoothペアリング登録情報も消去されます。
0H98	無し	「キンコン」が4回鳴って、Bluetoothペアリング登録情報を消去し、再起動します。 本製品の各種設定(本章で設定したものや音量設定)は初期化されません。

## 5 仕様

電源	リチウムイオン充電電池 3.7V 1,000mAh
待ち受け時間 (Bluetooth 接続時)	最大約 8 日間 (電波環境や携帯電話との距離により変わります)
内蔵バッテリー充電時間	最大約 2 時間 常時 AC アダプタ接続での使用も可能 (過充電防止機能あり)
充電用電源入力	USB Type-C メスコネクタ (Type-C からマグネットコネクタへの変換アダプタ装着 ※制御基板キットではオプション) 5V 最大 500mA
Bluetooth 仕様	Ver2.1+EDR Class2 (通信距離最大 10m、実用 3m 程度)
Bluetooth 対応プロファイル	HFP 1.7.2, HSP 1.2, A2DP 1.3(*), AVRCP 1.6(*) *はメディア再生・操作機能有効時
接続可能な携帯電話数 (Bluetooth 接続)	同時接続・待ち受け台数：最大 1 台 ペアリング：最大 3 台
電波法関連	総務省の工事設計認証取得済みモジュールを内蔵
付属品	取扱説明書(本書) USB 充電ケーブル USB 充電器(AC100V 用, 電気用品安全法(PSE マーク)対応)
保証期間	1 年間 ただし使用上の注意(第 1 章)に従い使用された場合に限りです。 保証期間後も、有償で故障修理や劣化したバッテリーの交換が可能 です。購入先にお問い合わせください。

製造・販売：浜谷製作所

電子メール：info1@ttrmkr.sakura.ne.jp

インターネットウェブサイト：<https://ttrmkr.sakura.ne.jp/>

## 6 特殊ダイヤル操作一覧表

受話器を置いた状態		
番号	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	Bluetooth 接続 機器番号 1	ペアリング解除 機器番号 1
2	Bluetooth 接続 機器番号 2	ペアリング解除 機器番号 2
3	Bluetooth 接続 機器番号 3	ペアリング解除 機器番号 3
4	Bluetooth 切断	一般の設定 (音量調節)
5	バッテリー残量確認	一般の設定 (3 桁)
6		発着信関連の設定 (3 桁)
7		短縮ダイヤルの登録
8	ペアリング・接続 (2 桁)	Bluetooth 接続関連の設定 (3 桁)
9	ベルテスト	マナーモード設定 (2 桁)
0	タイマー機能 (3 桁)	電源オフ・再起動・設定初期化 (2 桁, 3 桁)

受話器を上げた状態				
番号	発信前に		発信後、通話中に	
	普通にダイヤル ※1	指止めで止める※	普通にダイヤル	指止めで止める※
1	短縮 1・通話アプリ接続 1	短縮 1	トーン送出：1	受話音量 (2 桁)
2	短縮 2・通話アプリ接続 2	短縮 2	トーン送出：2	送話音量 (2 桁)
3	短縮 3・通話アプリ接続 3	短縮 3	トーン送出：3	
4	短縮 4	短縮 4	トーン送出：4	
5	短縮 5	短縮 5	トーン送出：5	
6	短縮 6・リダイヤル	短縮 6	トーン送出：6	
7	短縮 7・メディア操作モード*	短縮 7	トーン送出：7	
8	短縮 8	短縮 8	トーン送出：8	
9	短縮 9	短縮 9	トーン送出：9	トーン送出：*
0	短縮 0・音声アシスタント起動	短縮 0	トーン送出：0	トーン送出：#

※1：普通にダイヤルの機能を有効にするには設定が必要な場合があります (3. 6 節、3. 11 節)。

受話器を上げた状態	
音声アシスタント・メディア操作モード中	
番号	普通にダイヤル
1	メディア再生開始
2	メディア再生停止
3	メディア音量 (2 桁)
4	
5	次の曲へ
6	前の曲へ
7	
8	
9	音声アシスタント停止
0	音声アシスタント起動

※「指止めで止める」とは、次の操作です。  
各番号のダイヤルを右へ回した後、指止めのところで3秒ほど一旦止め、「キンコン」と鳴ったら指を離します。